

報道関係各位

2023年3月13日

SAS Institute Japan株式会社

SASのThe Batting Lab、2023年ソーシャル・インパクト・アワードを受賞

アナリティクスのリーディング・カンパニーが教育分野で最高の栄誉を獲得

アナリティクスのリーディング・カンパニーである米国SAS Institute Inc.（以下 SAS）は、同社のThe Batting Labで企業の社会的責任と多様性・公平性・包括性に関する優れた取り組みを表彰するPRNEWSの2023年ソーシャル・インパクト・アワード（2023 PRNEWS Social Impact Awards）において教育キャンペーン（Education Campaign）部門を受賞しました。この賞は、独自のプラットフォームを活用して地域社会や国際社会をより良くしようとするコミュニケーターを表彰するもので、特に教育に影響を与える企業に焦点をあてています。

SASは、STEM教育を改善して数学をすべての子どもたちにとって身近なものにし、日常生活の中でデータを見る力を育むことに注力しています。SASは、子どもたちの野球技術の向上と、データに対して自信を持たせてデータリテラシーを高めるという2つの目的で、The Batting Labを開発しました。

The Batting Labは、野球とアナリティクスを組み合わせることで数学を楽しいものにするインタラクティブなバッティング・ケージであり、子供たちはデータを通じて自分のスイングを改善することができます。バットを振るたびに音声センサーが打撃の瞬間を検出し、起動したセンサーがスイングをとらえます。映像はコンピューター・ビジョンを使って処理され、バッターボックスに取り付けられた数百個のセンサーが、スイング時の打者の体重移動を記録します。打ったボールの飛距離はリアルタイムに記録されます。SAS[®] Event Stream Processingは打者へのフィードバックのために、SAS Econometrics内に作成された「隠れマルコフモデル」を用いて、ビデオおよびセンサーデータを取り込みます。

SASは、The Batting Labのためのデータ収集においてノースカロライナ州立大学の野球部とソフトボール部のエリート選手と提携し、選手のスイングを収録しました。収録した何千ものスイングをコンピューター・ビジョンで解析し、そのデータから理想のフォームを作り上げました。各スイングを採点し、プロのコーチが作成したルールに基づき、選手へのアドバイスを作成します。

PRNEWSの論説員であるエリカ・ブラッドベリ（Erika Bradbury）氏は、次のように述べています。「今年のソーシャル・インパクト・アワードの受賞者は、企業の社会的責任および多様性、公平性、包括性の模範となるモデルです。受賞者の、それぞれの地域社会での活動は評価されるべきであり、彼らのコミットメントを称えることができるのは光栄なことです」

SASは、McCann New YorkおよびそのパートナーであるVolvox Labsと連携してプログラムを開発しました。SASのマーケティング、研究開発、教育、ソーシャルイノベーション部門など、全社から集められた社員、ノースカロライナ州立大学の野球部およびソフトボール部のスタッフ、さらに、このプログラムのスマート・バッティング・ケージを設置させてくれたノースカロライナ州エイベックスのPerformance Academyに特に謝辞を贈ります。



The Batting Labの詳細と、教育に影響を与えるSASの取り組みについては、[こちら](#)をご覧ください。

*2023年2月23日に米国SAS Institute Inc.より発表された[プレスリリース](#)の抄訳です。

本原稿はSAS本社プレスリリースの原稿を抄訳したものです。本記事の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。

[PRNEWS](#)について

PRNEWSは、PRおよびコミュニケーション業界にビジネス・インテリジェンスと対面型エクスペリエンスを提供するイベントおよびデジタル・メディアの最大ブランドです。

SASについて

SASは、アナリティクスのリーディング・カンパニーです。SASは、革新的なソフトウェアとサービスを通じて、世界中の顧客に対し、データをインテリジェンスに変換するためのパワーとインスピレーションを届けています。SASは「The Power to Know[®]（知る力）」をお届けします。

*SASとその他の製品は米国とその他の国における米国SAS Institute Inc.の商標または登録商標です。その他の会社名ならびに製品名は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

SAS Institute Japan株式会社

広報担当：jpnpress@sas.com

SAS PR事務局（PRAP Japan）

sas_pr@prap.co.jp